

デザイン検討組織の設置について

1. デザイン検討組織設置の背景と目的

池袋駅周辺地域まちづくりの将来像である「世界中から人を惹きつける国際アート・カルチャー都市のメインステージ」を実現していくためには、シンボリックな都市の顔や個性ある拠点を形成するとともに、高質な空間をネットワークすることで地域全体の魅力を高めていくことが必要です。これまで検討を重ねてきた「まちづくりガイドライン」や「基盤整備方針」に示す事業を進めていく際には、複数の民間都市再生事業や道路・公園などの公共都市基盤が協調、連携することにより、魅力的な都市空間を創出していくことが重要となります。

そこで、大規模建築物や公共都市基盤の整備を対象として、専門家等との意見交換を行い、都市空間デザインを適切にコントロールしていくために、デザイン検討組織「デザイン検討部会(仮称)」を設置します。

2. デザイン検討部会(仮称)の検討体制について

- ・「デザイン検討部会(仮称)」は、特定区域景観形成指針の検討及び運用を行います。
- ・「再生委員会」は、「デザイン検討部会(仮称)」からの報告を受けます。

●池袋駅周辺地域再生委員会

会長：岸井隆幸 副会長：中井検裕 特別委員：隈研吾

委員：学識経験者（中村文彦、羽藤英二、千葉学）、国、都、区、鉄道事業者、関係事業者（大規模都市開発事業者等）、住民代表者

目的：池袋駅周辺地域内（特定都市再生緊急整備地域）における、まちづくりの将来像を示す、**まちづくりガイドライン・基盤整備方針**等を取りまとめ、都市再生事業に係る調整・合意形成を図る。

○基盤検討部会

座長：岸井隆幸 副座長：羽藤英二
委員：学識経験者（羽藤英二、千葉学、坂本邦宏、市古太郎）

国、都、区、関係事業者等
目的：池袋駅周辺の都市基盤（道路・駅前広場・デッキ等）整備方針の検討

◇駅空間WG（座長：市古太郎）

目的：地下空間防災推進、駅及び駅周辺案内サイン改善

○デザイン検討部会（仮称）

（H29年度設置）

委員：学識経験者、関係事業者等
目的：大規模建築物、公共施設等のデザインの相互調整、指針の策定、運用等



連携